

タイトル…フアニーたい焼きトムーンか  
に玉

## 登場人物

トム（30代前半・米国人・店主） 魚住（20  
代前半・日本人・バイト） 常連客たち（個  
性的なキャラクター） レポーター（SNS  
で話題になり取材に来る） 隣のたい焼  
き屋店主（スパイとして来店）

## 第一幕：発案・調理

（店内。トムが厨房でエプロン姿。魚住がカウンターを拭いている）

トム「オーケー！今日はニューフェイス！その名も：カニタマたい焼き！見てくれ、この黄金色に輝くたい焼き！まるで朝日に照らされたエッグ・オブ・ザ・ゴッドだ！」  
（ドヤ顔でたい焼きを掲げる）

魚住「…かに玉？あの、カニと卵の…あんかけみたいなの？」

トム「YES！でもたい焼きだから、あんかけじゃなくて、トロトロのカニタマがガッツリIN！しかも、ただのかに玉じゃない！『スーパーウルトラメガカニエッグミラクル・ファイバーたい焼き』！」

魚住「ネーミングが無駄に長いんですよ！」

トム「インパクトが大事だろう！？『カニエッグミラクル』と聞いたら、どんな料理か気になる！気になるよね！？気になるって言え！」

魚住「うるさいです！」

（トムが生地を広げ、カニタマの餡をたっぷりと流し込む。生地の上でカニのほぐし身と半熟の卵が混ざり合い、ジュウツと音を立てる）

魚住「ちょっ…！ソースが跳ねてますよ！」

トム「それが美味しさの証！フレッシュユデアグレッツシブなたい焼きだ！」

（トム、特製ソースをかけ、焼き上げる。ジュワツと湯気が立ち上り、甘く香ばしい醤油の香りが店内を満たす）

魚住「うわぁ…：香りが…：海鮮中華料理店みたい…！」

トム「BUT！これはたい焼き屋！それが  
フアニーたい焼きトムの革命だ！」

魚住「革命って言えばなんでもいいわけ  
じゃないですよ…」

## 第二幕：開店・お客達のリアクション

（開店。次々と来る客たちの大袈裟なり  
アクション）

女子高生グループ（たい焼きを半分に割  
り、溢れ出るトロトロの卵に目を見開く）  
「え、なにこれ！？すごいトロトロ：う  
わ！カニが濃厚すぎる！：え、後から甘  
じょっぱいソース！？頭がバグる！」

友人▶「たい焼きなのに中華！？いや、  
これ完全に天津飯のアタック受けて  
る！！」

友人♫「でもうまい…！なんかもう、こ  
れは新しい食べ物だよ！」

（カメラがたい焼きをクローズアップ。  
割ると、トロトロのかに玉が溢れ、湯気  
と共に旨味の香りが広がる）

ビジネスマン（一口食べ、目を見開き）  
「ランチにどうかと思ったが…いや、こ  
れは…アリ…いやナシ？…いやアリ！？」

外国人観光客「Oh！ジャパニーズ・マジ  
ック・フードー！It's like a sweet and salty  
explosion！」

魚住「トムさん…たい焼きの概念、ぶち  
壊してませんか？」

トム「それがフアニーたい焼きトムの使  
命さ！」

（さらに、常連の中年男性が登場し、じ  
つくりとたい焼きを観察する）

常連客「ほほう…まずは香り。うむ、甘  
じょっぱいソースの香りがただよう…

そして見た目、黄金色のフワフワ生地。  
カニの身もチラリと見える。さて、味  
は…」（一口食べる）

（次の瞬間、瞳孔が開き、顔が震え始め  
る）

常連客「うおおお…！ 口の中に、天津飯  
の波が押し寄せ…たい焼きの甘みと混ぜ  
り合い…まるで中華の樂園にいるよう  
だ…！」

魚住「いや、リアクションが壮大すぎま  
せん！？」

（さらに客が続く。子連れの母親が一口  
食べて感動）

母親「これは…子供も好きな味かも…！」

子供「おいしー！ふわふわで、なんか甘  
いのにごはんみたい！」

タクシードライバー「こりやすげえ：車  
の中で食べるのがもったいねえ！」

（店の外まで行列ができる）

### 第三幕：SNSで話題になりレポーター 登場

（SNSで拡散され、店の前には行列。そ  
こへレポーター登場）

レポーター「話題のカニタマたい焼きを  
取材しに来ました！」

トム「グレート！さあ、味の宇宙旅行へ  
ようこそ！」

（レポーターが食べる。驚愕の表情）

レポーター「これ：まさか：たい焼きの  
形をしたフレンチの高級料理！？」

魚住「違います、たい焼きです：」

(さらに、リポートが全国放送され、視聴者のコメントがSNSに流れる)

## SNSの反応

「カニタマたい焼きって何！？食べたい！」

「斬新すぎる！たい焼きの革命！」

「トロトロすぎて、もはや液

体：！？」

「行列ができてるってマジ！？これ

は並ぶしかない：！」

「カニタマたい焼き：食の常識を

超えた戦士：！」

レポーター「トムさん、これはどういう発想から生まれたんですか？」

トム「僕のモットーは『どうせ作るならフアニーなたい焼きを！』だからね！天

津飯をたい焼きに入れたらフアニーになると思ったんだ！」

レポーター「いや、普通はそう思いませ  
ん！」

#### 第四幕：ライバル店のスパイ来店

（隣のたい焼き屋店主が変装して来  
店。怪しい動き）

スパイ店主（小声）「このカニタマ：ど  
うやってこんなトロトロ感を：」

（食べる）

スパイ店主「な、何イイイ！？たい焼き  
の生地はこのフワフワ感を融合！？ま、  
真似できない：！」

（トム、勝ち誇った笑顔）

トム「オーマイゴッド！君の動き、スパ  
イ映画レベル！」

（スパイ店主、震えながら退店）

（翌日、隣のたい焼き屋が新メニュー『天津焼き』を販売するも、全く同じ味にならず失敗する）

スパイ店主「くそっ…！どうしてあのトロトロ感が再現できないんだ…！？」

魚住「トムさん、なんか勝っちゃいましたね…」

トム「当然だ！これがフアニーたい焼き  
トムのオリジナリティ！」

（勝利のポーズを決めるトム。魚住、苦笑い）

### エピローグ：閉店後

（行列が消え、店内。二人で余ったカニ  
タマたい焼きを食べる）

トム「…天津丼が欲しいなあ」

魚住「最初からそれを作りましょうよ！」

トム「ノンノンノン！たい焼きだからこそ、意味があるんだ！天津井はただの天津井！しかし、カニタマたい焼きは：」

魚住「あーもう、わかりました！勝手に語っててください！」

（爆笑エンド）

・ 第一幕：発案・調理（約20分）

- ・ トムが「かに玉たい焼き」の発想を思いつき、試行錯誤しながら作る過程を描写。

・ 第二幕：開店・お客達のリアクション  
（約25分）

- お客たちの大袈裟なリアクションを中心に、飯テロ的な描写を多めに。

• 第3幕：SNSで話題になりレポーターが取材に来る（約20分）

- バズる過程とレポーターによる取材のやりとりを強調。

• 第4幕：隣町のたい焼き屋の店主がスパイとして来店（約15分）

- ライバルのスパイ行動と敗北を描く。

• エピローグ：閉店後のトムと魚住（約5分）

- 余ったかに玉を食べる二人の落ち着いたやりとり。